

人間総合科学研究科 医学セミナー

放射線高感受性遺伝疾患の原因遺伝子とがん放射線増感

日時：2014年7月17日(木)18:00～20:00

場所：陽子線センター3階 カンファレンス室

※事前申し込み不要 直接お越しください

[セミナー概要]

放射線高感受性遺伝病は高頻度のがん発症を伴う例が多い。ナイミーヘン症候群（Nijmegen breakage syndrome : NBS）も高発がん性と放射線高感受性を示す希な遺伝疾患の一つである。ほぼ全てのNBS患者が小頭症と発育遅滞、免疫不全を示し、相当数の患者で湾曲指症等の奇形も認められるほか、若年でBリンパ腫を発症することも多い。

本セミナーでは、NBS患者の臨床症状ならびにNBS1タンパク質の分子機能を紹介するとともに、我々が取り組んでいるNBS1タンパク質の機能を標的とした放射線増感に関する基礎研究について紹介する。

茨城大学
理学部 生物科学コース
大学院理工学研究科理学専攻生物系 教授



講師：田内 広 先生

世話人教官

医学医療系生命医科学域 坪井康次

問い合わせ

陽子線医学利用研究センター 事務室 内線：7100